公益財団法人 鹿児島県文化振興財団 埋蔵文化財調査センター

～かごしまの遺跡～

第18号 平成31年2月1日

特集：平成30年度発掘調査・整理作業の総括

かつての往来に想いをはせる

六反ヶ丸遺跡現地説明会
出水市六月田町

平成30年11月10日(土)，六反ヶ丸遺跡の現地説明会を開催しました。発掘調査の様子や，貴重な調査成果について広く知ってもらえるよう，古墳時代～近世の遺構群(竪穴住居跡・礫敷遺構ほか)や重要遺物(青銅製鈴・小型仿製鏡)などの見学を行っていただきました。会場には「遺構実測の見学」コーナーや，他に「土器洗い体験」のコーナーも設けられ，にぎやかな様子でした。

説明会は地域住民向け(午前)と一般見学者向け(午後)の計２回行い，天候にも恵まれて，多くの見学者(228名)が来跡されました。皆さん，職員の説明を食い入るように聞き，歴史の一コマ一コマを確かめながら，古代にタイムスリップしたかのように一歩一歩足を進めていらっしゃいました。見学者からは「とても大きな竪穴住居で驚いた」「(礫敷遺構に)敷き詰めた小石や土器がきれいだった」「発掘現場で鏡が見られた」などの声も聞かれ，遺跡を十分に堪能していただけた様子でした。

遺物の劣化を止める取り組み ～金属製品の保存処理～

発掘調査では，土器や石器以外に金属製品や木製品が出土することがあります。川久保遺跡からは，多くの金属製品(鉄鏃など)が出土しています。これら金属製品は，劣化が進まないように機器や薬品を使用して保存処理をします。

① 事前診断

双眼実体顕微鏡などの肉眼観察の他，レントゲン撮影で内部の腐食も調査します。観察調査結果に処理前の写真や実測図も加えカルテを作成します。

② クリーニング

グラインダーなど多くの道具を使って錆や土砂などを取り除きます。有機質部分（木製の剣の鞘など）は残しておきます。

③ 脱塩・安定化

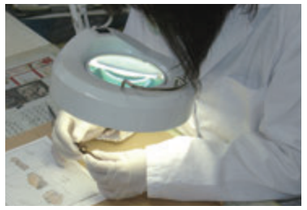
鉄製品は，錆の元になる塩化物イオンを除去します（脱塩処理）。また，銅製品は，BTA溶液で化合物の層を作り，腐食が進まないようにします（安定化処理）。

④ 含浸処理

樹脂で表面をコーティングします。気圧を下げることで，遺物の表面にある細かなすき間にもしっかり樹脂が染み込み，酸素や水蒸気を遮断します。

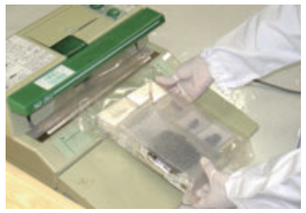
⑤ 接合

折れていたり，はがれていたりした部分を接着剤などでつなげて元の形に近づけていきます



⑥ 保管，収蔵

RP システム（水蒸気や酸素を吸収する薬剤)と一緒に透明フィルムで密封し，温度や湿度が一定の場所で保管します。



遺跡見学・職場体験学習・現地説明会

遺跡名	所在地	期　日	来訪団体等	内　容	参加者数
春日堀	志布志市	7月10日～12日	志布志市立宇都中学校	職場体験学習	3名
		8月25日	一　般	現地説明会	220名
		8月29日	おおさきっこ歴史探検隊	遺跡見学･発掘体験	16名
		10月4日	志布志市立蓬原小学校6年生	遺跡見学･発掘体験	12名
木　森	志布志市	8月28日	一　般	現地説明会	8名
六反ヶ丸	出水市	11月10日	一　般	現地説明会	228名

(公財) 埋蔵文化財調査センターのホームページは，上野原縄文の森 (http://www.jomon-no-mori.jp) または，鹿児島県文化振興財団 (http://www.houzanhall.com/zaidan/) 「上野原縄文の森」からお入りください。

検索キーワード
上野原縄文の森　検　索　クリック

～かごしまの遺跡～ 第18号
発　行　日　平成31年2月1日
編集・発行　(公財) 鹿児島県文化振興財団
埋蔵文化財調査センター
〒899-4318　鹿児島県霧島市
国分上野原縄文の森２番１号
TEL 0995-70-0574・FAX 0995-70-0575
URL：http：//www.jomon-no-mori.jp
E-mail：maibunchosa@tuc.bbiq.jp

発掘調査

開発に伴う発掘調査は，現状のまま保存できない埋蔵文化財について，遺構の状態や遺物の出土状況を写真や図面で精密に記録して保存する目的で行われます。

荒園遺跡（曽於郡大崎町仮宿）

幅約3m，検出面からの深さ約1.5mの，断面が「レ」の字形をした溝(片薬研堀)が発見されました。埋土中に紫コラ(平安時代に開聞岳から噴出)が堆積していたことから，堀が作られた時期は西暦874年以前と考えられます。

石鉢谷A・B遺跡（鹿屋市古里町）

縄文時代早期の層(約8,500年前)から，集石が発見されました。約10～30cmの比較的大きい礫が使用されています。集石は石蒸し料理を行った遺構と考えられています。

木森遺跡（志布志市有明町野井倉）

菱田川左岸，標高約30mのシラス台地上にあります。中世(約700年前)の建物跡や縄文時代早期（約11,000年前）の集落跡が見つかりました。調理施設と考えられる連穴土坑内からは，南九州特有の角筒土器が見つかりました。

川久保遺跡（鹿屋市串良町細山田）

串良川右岸，標高30～50mの河岸段丘上に位置する遺跡です。平成26年度から調査が行われており，旧石器時代から古墳時代にかけて，この地で活発に活動していた人々の様子が分かってきています。今年度の調査では，古墳時代の遺物が多く出土しています。

高野木遺跡（薩摩川内市大小路町）

高野木遺跡の地層は，川内川の氾濫の影響と考えられる河川堆積層で，砂地がベースになっています。これまでに中世（約500年前）の畠跡が約80条見つかりました。その土壌を分析した結果，イネが検出され，当時の人々の生業の一端が解明されました。

田原迫ノ上遺跡（鹿屋市串良町細山田）

集石の記録写真を撮る前の作業の様子です。使われている礫の大きさや形状，広がり，周囲の土の色等の情報がわかるように，丁寧に作業を行います。

縄文時代早期の集石です。30cmを超えるとても大きな礫も使われていました。この遺跡では，これまでの調査でも写真と同じような集石がいくつも見つかっています。

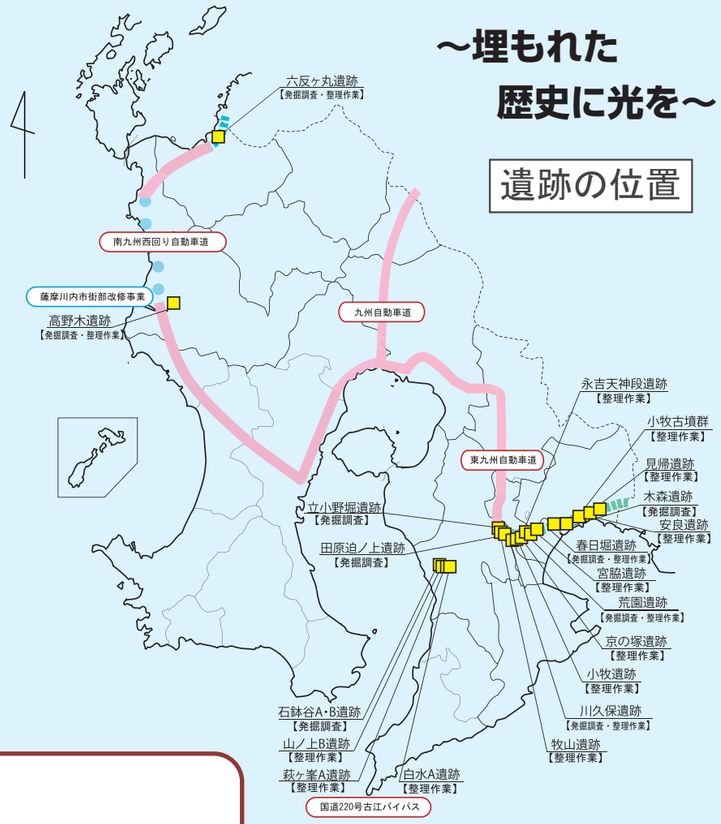
春日堀遺跡（志布志市有明町菱田）

菱田川右岸，標高約30mのシラス台地上で発見された縄文時代早期前葉から中葉の集落跡です。平成26～30年度までの調査で竪穴住居跡32軒，連穴土坑130基，土坑379基，集石468基が発見されました。連穴土坑，集石の数は県内最多です。様々な生活遺構が，密集して検出されており，安定した定住生活が長期間行われていた可能性が想定されます。

今年度の発掘 調査・整理作業

～埋もれた歴史に光を～

遺跡の位置



整理作業

今年度は，整理・報告書作成作業量の増加に伴い，第1整理作業所に加えて，新たに霧島市立福山中学校跡に「第2整理作業所」を設置し，2カ所で整理作業を行いました。

第1整理作業所

第1整理作業所は「上野原縄文の森」の隣接地にあります。長さ約81m，幅約6mの細長い建物で，内部は整理作業室や復元室，収蔵庫等に区切られており，遺物の洗浄や注記，実測・トレース・レイアウト・復元など，報告書作成にかかる一連の作業を行っています。

今年度は見帰遺跡・高野木遺跡の報告書作成作業，安良遺跡・宮脇遺跡・小牧古墳群・春日堀遺跡・荒園遺跡・京の塚遺跡・牧山遺跡・白水A遺跡・萩ヶ峯A遺跡・山ノ上B遺跡・六反ヶ丸遺跡の整理作業を実施しています。

第2整理作業所（霧島市立福山中学校跡）

整理・報告書作成業務量の増加に伴い，今年度から霧島市立福山中学校跡に「第2整理作業所」を設置しました。各教室や特別教室（音楽室や美術室，図書室等）の特徴を生かしながら，3遺跡（川久保・小牧・永吉天神段）の整理・報告書作成に取り組んでいます。

整理作業の一部は民間調査組織に業務委託して進めています。川久保遺跡は，古墳時代の製鉄や鍛冶に関連する遺構・遺物が多数発見されており，整理・分析の成果が注目されます。

小牧遺跡は，住居跡などの埋土から取り出した炭化物を科学的に分析し，当時の食生活や住居の資材などを明らかにする試みに取り組んでいます。

永吉天神段遺跡は，これまでに3冊の報告書が刊行されており，今年度は「縄文時代晩期・弥生時代・古墳時代編」の刊行に向けた作業を進めています。